

建築研究所ニュース



平成21年10月2日

蒸暑地域を対象とした、「建築環境技術研修」を新たに開講します

中国南部から東南アジア、南アジアにかけてのアジアの蒸暑地域（高温・多湿気候の地域）には、世界人口の1/3にあたる20億人以上の人々が暮らし、そのエネルギー需要の急速な増大とCO2排出量の急激な増加が懸念されています。

独立行政法人建築研究所では、沖縄や南九州など国内の蒸暑地域における住宅の省エネルギー技術等の研究を実施してきていますが、これら成果をアジアを始めとする蒸暑地域への普及を図るため、今回、新たに「建築環境技術研修」を、10月6日の開講式から約2ヶ月間、国際協力機構（JICA）と連携して、開講します。

蒸暑地域の国から今回、来日する研修員は、建築研究所が開発した蒸暑地域向けの省エネルギー技術をはじめ、自国における気候条件、各種エネルギー事情、生活行動様式、一般的な住宅建築構造、設備機器の普及やその消費エネルギー量の動向などの実態にあわせた、省エネルギー技術を学び、帰国後にその技術を普及していくことが期待されます。

<参考1：開講式の日程>

建築環境技術研修 開講式

日時：平成21年10月6日（火）13:10～13:40

場所：建築研究所2階講堂

（つくば市立原1）

<参考2：研修の概要>

- ・技術研修期間 平成21年10月7日（水）～11月26日（木）
- ・場所 建築研究所ほか
- ・参加者 平成21年度は3ヶ国から3名（インドネシア、イラン、サモア）
- ・主な講義内容

建築環境設計の基礎

アジア諸国等の住宅エネルギー消費量と温暖化防止対策

日本の住宅産業と生産システム、日本の行政施策

省エネルギーに資する要素技術

（冷房給湯、換気設備、高反射率塗料、パッシブソーラーなど）

自立循環型住宅設計指針 蒸暑地版

(内容及び開講式取材の問合せ先)

独立行政法人建築研究所

所 属 企画部国際研究協力参事

氏 名 飯 田 直 彦

電 話 029-879-0631(直通)

E-mail bri@kenken.go.jp

☆ ご面倒ですが掲載の折には、その記録を留めるため、上記問い合わせ先へお知らせ下さい。